

企画力
試作
量産
多品種
小ロット
短納期
コスト相談



LED部品、LED応用製品製造業

**継続的に人を育成し、
技術を研ぎ、多業種業界の
要望に応えることにより
会社も人も成長する**

主な事業内容

電子部品および電子機器の製造、販売

主な製品

LED部品、LED応用製品



クリーンルーム(検査工程)



クリーンルーム(ポンディング工程)
省エネ館

事業内容と沿革 4畳半からのスタート

エーシックは、大手電子部品メーカーでLED製造部長をしていた神野勝会長が平成4年3月に立ち上げた。大手メーカーでは敬遠されがちであった遊技機向けLED表示器の設計を手掛けることからスタートした。設立当初は文字通り4畳半からの船出。設計のみの受注から始まっていたが、後に製造にも参入。遊技機向け装飾用LEDやフルカラーLEDパックライトなどが主力製品となった。

現在でも遊技機に使用される振動機能付き照光式スイッチなどが主力商品であるが、ほかにも汎用性の高い表面実装型フルカラーLEDや細長いライン型のLED照明なども手掛ける。LED照明分野では鉄道車輌の架線用ヘッドライト、高級寝台特急やプレミアム車両などのダウンライトとしても採用されている。変わったところでは植物工場などで使用する水耕栽培用植物育成LED光源なども手掛けている。

強み

シミュレーション活用で 開発から量産までスピード対応

メーカー間の競争や新台入れ替えの早さなど業界特有の事情もあり、主力分野である遊技機業界では、設計開発から生産立ち上げまでの細やかな対応力とスピード感が求められる。同社は品質重視を掲げつつ、短期開発サイクルに対応してきた。LEDが発する光・熱、そして回路動作のシミュレーションを社内で行うことで試作から量産立ち上げまでの手間と時間を削減した。例えば、LEDの光の反射が不均一になってしまふと設置した機器で表示された際に一部に影が映るなどの不具合が出ることがある。そのような不具合を事前に光学シミュレーションソフトで解析。初回試作の一歩手前で不具合を回避するための設計変更を顧客に提案する。このような取り組みでより最終製品に近い試作が可能となっている。

プラスワンアイデアでお応えする

エーシックでは、製品の開発・設計・製造・販売まで国内で一貫して行っており、開発拠点は京都本社、製造拠点は長野県岡谷市と広島県福山市にあり、質の高いものづくりを行っています。海外への生産シフトで国内のものづくりが危機にある中、高品質、短納期、柔軟な対応力を実現し、お客様に価値あるQ(Quality) C(Cost) D(Delivery) S(Service) プラス S(Speed) を提供しています。



代表取締役社長
栗林 智国さん

また照光式スイッチの耐久試験機なども内製化し、製品によっては1000万回の打検を社内で実施。量産前に耐久性向上の対策も検討し実施する。これも品質重視でのづくりを行ってきた同社ならではの取り組みだ。顧客からLED表示で3Dのような演出の立体化を求められたらバースラインなどを取り入れて立体感を演出。社内でのアイデア出しも積極的に行っている。

また、同社は環境規格である「環境マネジメント・スタンダード(KES)」のステップ2にも登録されている。KESとはISO14001の簡易版で京都府独自の環境規格であり、全社員で環境負荷低減に向け努力する日々だ。さらに、同社の強みを陰で支えるのは広島県福山市にある100%子会社(株)エー・ピー・エフの存在だ。製造を担う子会社であっても技術部門を設置しており、顧客からの要求実現に向け日々、リスクを洗い出し対策案を練っている。クリーンルームも完備し、品質・価格・納期、すべてにおいて顧客満足を追求する。

今後の展開

多業種業界の要望に応える

コロナ禍の混乱、為替変動、カントリーリスクによりものづくりの国内回帰の動きが注目されている。国内でLED部品の組み立て工程を保有する企業は年々減少しており、同社にもその問い合わせや相談の件数が増えている。また電子部品/半導体業界では、製品をリリース後、需要が減少すると製造を中止する。これはLED部品にも当てはまる。LED部品を使用する機器には10年以上も製造し続けるものがあり機器メーカーの困りごととなっている。同社には近年そのような製造中止になったLED部品についても相談が来るようになった。これから先の展開として「これまでお世話になってきた遊技機業界も今までと同じように大事にしつつ、現在保有している設備や技術を土台に対応幅を拡大して他業種への展開も考えていく」と栗林社長は今後を見据える。

住 所	〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏37-1
T E L	0774-41-3777
F A X	0774-44-6575
創 業	平成4年3月
設 立	平成4年3月
資本金	1,500万円
従業員	53名

奮闘中
新米社長
です。

<https://www.asyck.co.jp/>

